

## 9-2 アンケート実施後のいじめ対応に要する時間

加害生徒7名（うち4名が被害生徒と同じ学級，3名が他の学級）で解決に10日を要した場合の想定である。  
要した時間，関わった教員数は最少値である。

	対応内容	要した時間(分)	関わった教員数	計(時間)	備考
1	アンケートからいじめの訴えを担当が発見，いじめ担当・学年主任・担任で対応を協議	30	3	1.5	当該学年教員全員が参加することもある。
2	担任が被害生徒から聞き取り	30	2	1	2の前に，被害生徒保護者に連絡することもある。
3	2で聞き取った内容をもとに，いじめ担当・学年主任・被害生徒担任・加害生徒担任で対応を協議	30	4	2	聞き取った内容によって，関係生徒に関わりの深い教員や養護教諭が加わる。
4	加害生徒4名に個別に聞き取り（1回目）	30	4	2	加害生徒の言い分が食い違う場合，再度聞き取るので，要する時間は長くなる。
5	4で聞き取った内容について，いじめ担当・学年主任・聞き取った教員で事実擦り合わせ →事実不一致，新たに聞き取る内容を検討	30	4	2	
6	被害生徒・加害生徒の保護者に連絡	15	5	1.25	保護者の帰宅を待って電話するが，その待ち時間は要した時間に含まれていない。
7	被害生徒・加害生徒に個別に聞き取り（2回目）	30	4	2	
8	7で聞き取った内容について，いじめ担当・学年主任・聞き取った教員で事実擦り合わせ →新たな加害生徒が3名発覚，聞き取る内容を検討	30	4	2	
9	被害生徒・加害生徒の保護者に連絡	15	5	1.25	6に同じ。
10	新たな加害生徒に個別に聞き取り	30	3	1.5	LINE等に誹謗中傷を書き込んでいた場合，家庭訪問をして書き込みを確認する。
11	10で聞き取った内容について，いじめ担当・学年主任・聞き取った教員で事実擦り合わせ→事実不一致	30	4	2	
12	被害生徒・加害生徒の保護者に連絡	15	8	2	6に同じ。
13	被害生徒・加害生徒に個別に聞き取り	30	7	3.5	
14	13で聞き取った内容について，いじめ担当・学年主任・聞き取った教員で事実擦り合わせ→事実一致	30	4	2	
15	被害生徒・加害生徒の保護者に連絡	15	5	1.25	6に同じ。
16	謝罪に向けた事前指導	30	4	2	当該学年教員全員が参加することもある。
17	謝罪の会	30	4	2	
18	いじめ対応の記録	300	1	5	教育委員会に提出する事故報告を作成する場合は，更に時間を要する。
計				36.3	36.3時間×3400円 約120,000円

※ 1～18の対応は主に放課後に行われるが，いじめが一応の解決に至るまで，児童生徒が学校にいる時間帯は休み時間も含め数名の教員がいじめに関係する児童生徒を観察する。それに必要な教員数や要する時間は資料に含まれていない。